

第9回 関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会

ウェルビーイングの実現に向けたこれからの生涯学習・社会教育

真岡まちづくりプロジェクト 「まちをつくろう」について

真岡市総合政策部プロジェクト推進課 複合交流拠点整備係 林大輔

林 大輔

HAYASHI DAISUKE

1975年 兵庫県明石市生まれ

1998年 真岡市役所入庁

2015年 新庁舎建設事業に従事

2018年 **新庁舎周辺整備推進事業**（現・複合交流拠点整備事業）に従事、現在 6 年目



- ☐ 社会教育士
- ☐ NPO法人 TSUKURU MOKA 監事
- ☐ NPO法人 TSUNAGU MOKA 監事
- ☐ 大前神社 大々御神楽 宮毘講
- ☐ 真岡まちづくりプロジェクト事務局

*I have no special talent.
I am only passionately curious.*

— Albert Einstein



栃木県真岡市

77,388人



○ いちご生産量日本一
いちご王国とちぎの首都

○ 「まちつく」
○ 複合交流拠点

○ いがしらリゾート
井頭公園・一万人プール
井頭温泉ほか

○ S L 真岡鐵道
○ 真岡木綿

真岡まちづくりプロジェクト
「まちをつくろう」 とは？

2021年4月 始動

公共空間を活かしながら
市民の手による
まちづくり実験を行うものです。

あんなこといいな、
できたらいいな、
を新しい仲間とカタチにしませんか

定員 20名
高校生以上。ワークショップから
社会実験まで参加できる方。

まちをつくらう

- 【趣 意】 私たちのまちを楽しくする“真岡まちづくりプロジェクト”
の仲間を募集します。
定員20名 募集期間 4月30日～5月16日
- 【対象者】 高校生以上。ワークショップから社会実験まで参加
できる方。
- 【対象地】 真岡地区・久下田地区の中心市街地の公共空間



真岡まちづくりプロジェクトは、公共空間を活かしながら市民の手によるまちづくり実験を行うものです。
あんなこといいな、できたらいいな、を新しい仲間とカタチにしませんか。

応募方法

真岡市ホームページからの
QRコードからアクセスし、希望
の応募フォームにて応募してく
ださい。



お問い合わせ：真岡市総合政策部プロジェクト推進室 電話 0285-83-8059 E-mail project@city.moka.lg.jp









人づくり

地域づくり

にぎわいづくり

100人の一歩

2021年4月	1期	20名
2022年4月	2期	43名
2023年4月	3期	34名

真岡市 総合計画 2020-2024

JUMP UP もおか
～だれもが“わくわく”するまち～



第2期 真岡市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略

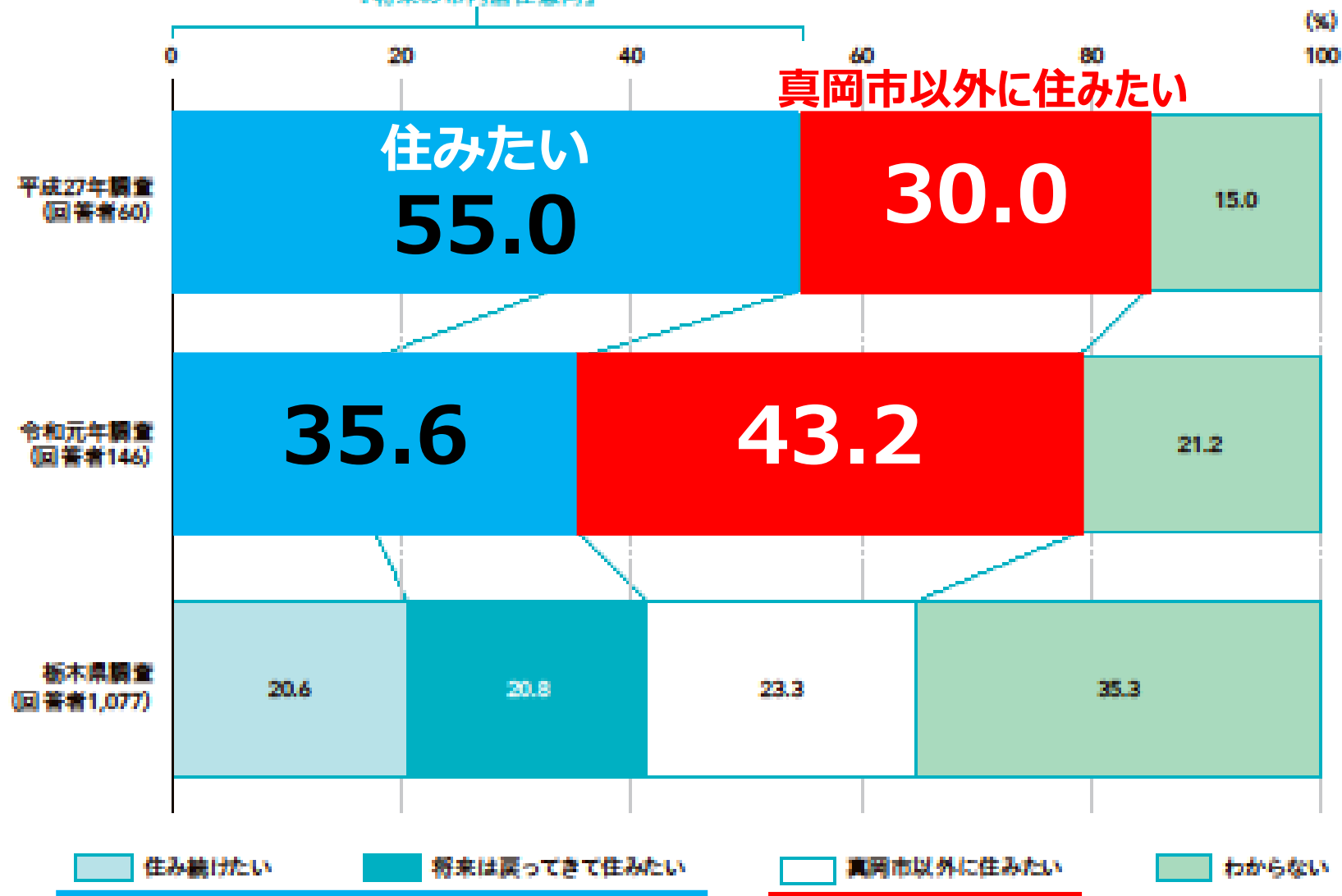


NO.1 ICHIGO CITY
MOKA
ナンバーワンでオンリーワン



市内在住の高校生の居留意識

「将来の市内居留意向」



真岡市 総合計画 2020-2024

JUMP UP もおか
～だれもが“わくわく”するまち～



第2期 真岡市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略



NO.1 ICHIGO CITY
MOKA
ナンバーワンでオンリーワン



「JUMP UP もおか～だれもが“わくわく”するまち～」を目指して



真岡市長
石坂 真一

真岡市は、四季折々の自然の恵みを受け、先人のたゆまぬ努力と市民の郷土愛に支えられながら、市民の皆様と協働によるまちづくりに取り組んできた結果、「質・量ともに日本一のいちご」をはじめとしたブランド力の強化と知名度向上を図り、全国に誇れる活力に満ちた魅力ある都市として着実に発展してまいりました。

しかしながら、人口減少や少子高齢社会の進行、労働力や担い手の減少による地域経済の

縮小、防災意識の高まりなど、本市においても社会・経済情勢は大きく変化しています。

このような中、「令和」という新たな時代に対応した市政を推進していくための指針として、令和2年度から今後10年間のまちづくりの指針となる基本構想と令和6年度までの5年間における基本計画を内容とする「真岡市総合計画 2020-2024」を策定いたしました。

本計画は、本市の将来都市

像を「JUMP UP もおか～だれもが“わくわく”するまち～」とし、若い世代を含めたすべての人が「真岡に住みたい、働きたい、子育てしたい」と希望を持ち、楽しさが実感できる都市の実現を目指し、市民の皆様と行政が一体となって、望ましい都市像とそれを実現するための施策の方向を明らかにしたものです。

基本構想では、真岡市が栃木県をリードし、全国に誇れる都市となるために、市民の皆様

との「絆」を大切にし、対話・協働・連携を深めながら、「選ばれ都市もおか」の実現を目指します。そのためには、本市の将来を見据えた「子どもたちの元気な成長」、「若い世代と子育て世代の応援」、「安心な暮らしの実現」、「とちぎをリードする産業の推進」、「まちの活力再生・魅力創出」をそれぞれの目的とする5つのプロジェクトを、まちづくりのリーディングプロジェクトとして位置づけ、重点的に取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました市民会議、政策審議会の各委員の皆様、貴重なご意見をいただきました市民の皆様様に心から感謝申し上げますとともに、今後とも、「真岡に生まれ、育ち、学び、働き、住んでよかったと実感し、市民だれもがわくわくできるまちづくりを推進してまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。」

真岡に住みたい、働きたい、子育てしたい
真岡に生まれ、育ち、学び、働き、住んでよかった



住みたい

働きたい

子育てしたい

生まれ、育ち、学び、
働き、住んでよかった

誰が？

私が住みたい

私が働きたい

私が子育てしたい

私が生まれ、育ち、学び、

働き、住んでよかった

主語は「私」

誰かがやってくれるではなく

私に何ができるか

私は何をしたいか

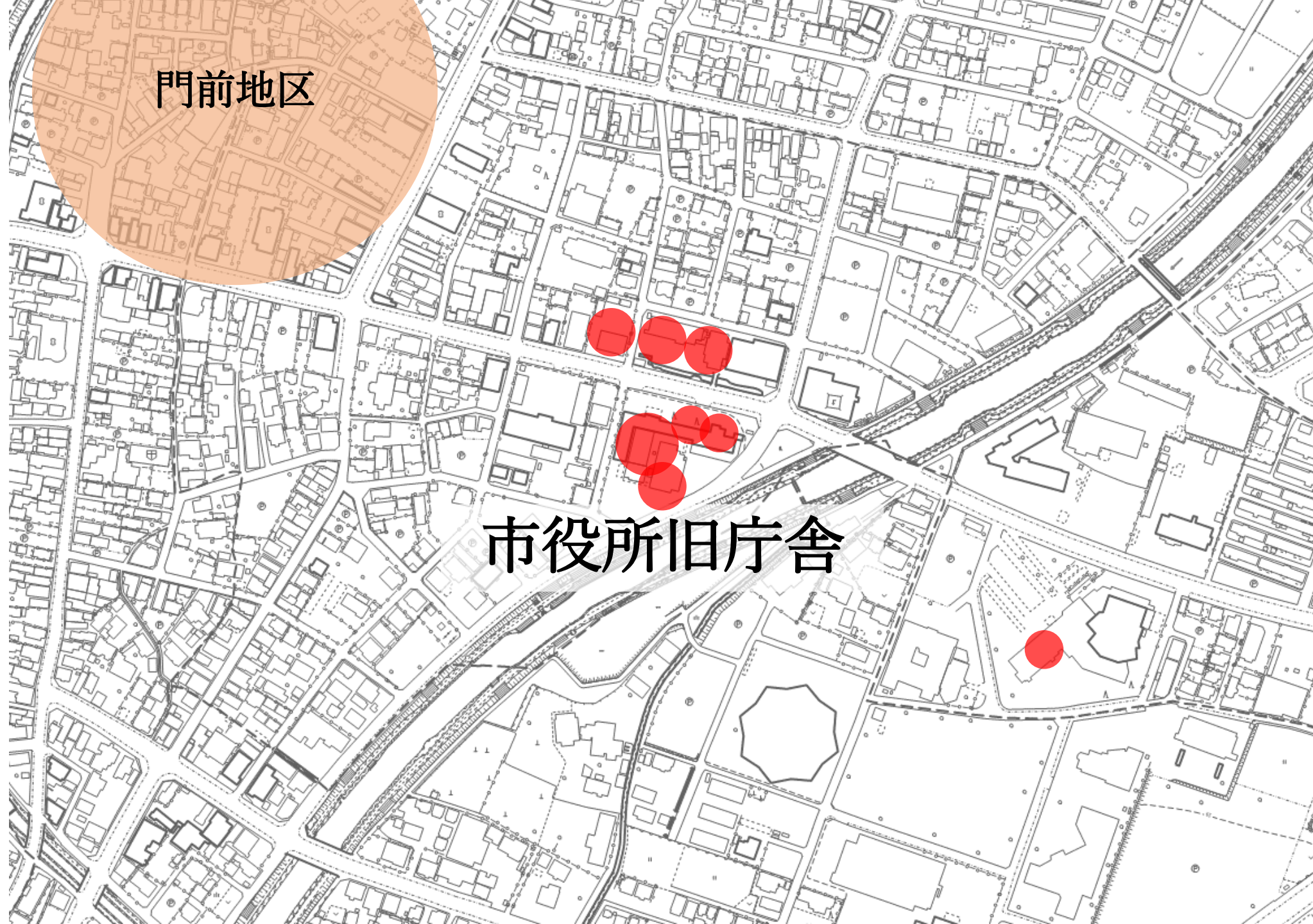
このプロジェクトの
生い立ち

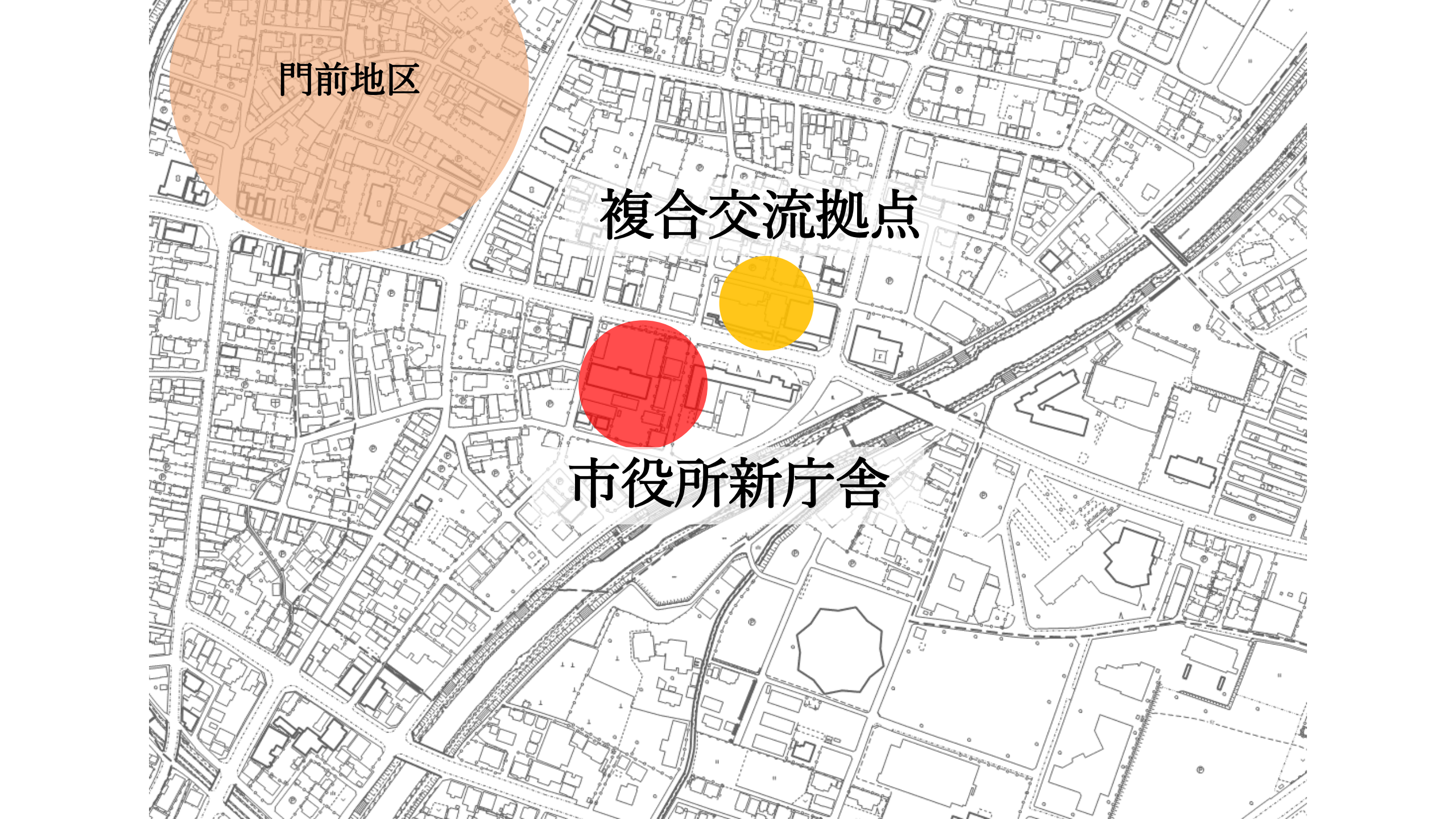
真岡市複合交流拠点
整備運営事業
(新庁舎周辺整備事業)

- ☐ 旧庁舎敷地の利活用
- ☐ 中心市街地の活性化
- ☐ 老朽化が進む公共施設
 - ・ 図書館 1982年築
 - ・ 子育て 1981年築
- ☐ 将来的な市の財政負担

門前地区

市役所旧庁舎





門前地区

複合交流拠点

市役所新庁舎

複合交流拠点

都市構造再編集集中支援事業（国交省）

- ① 図書館
- ② 子育て支援センター
- ③ 地域交流センター

＋ その他、まちづくり活動推進事業

複合交流拠点

2017. 6 検討開始

2018. 3 基本構想

2019. 5 基本計画

2021. 1 事業者募集 [DBO方式]

2022.12 事業者決定

2023. 3 建設工事着工

2025 春 開館予定

74億 8,450万円 [提案上限]

設計・建設業務	39億 1,790万円
維持管理・運営業務	35億 6,660万円

(令和6年10月から令和22年3月まで＝15年6ヶ月)

73億 233万5,994円 [選定]

清水建設【代表企業】

アール・アイ・エー

A I S 総合設計

シダックス大新東ヒューマンサービス

三菱電機ビルテクノサービス

北関東総合警備保障株式会社

事業費の内訳

建設工事費	29億9,640万円	複合施設、 駐車場等の工事費
設計調査費	2億5,850万円	設計費、事前調査費
備品購入費	5億5,330万円	遊具、本棚等の 購入・設置費
合計	38億820万円	

施設の概要

所在： 豊岡市東町5131番地（新庁舎北側、附属体育館跡地）
構造： 鉄骨造、3階建て
面積： 延べ6,832㎡（予定）

市では、平成29年から新庁舎周辺整備事業として検討を開始し、平成31年3月に基本構想、令和2年5月に基本計画を策定してまいりました。
施設の設計建設、維持管理運営を行う事業者を選定するため、大学教職員の学識経験者の意見を聴き、事業内容認可委員会において、最も優れた提案を選定し、市議会12月議会でも審議、議決され、正式に事業者が決定しました。



「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」

複合交流拠点として令和7年春に開館予定



新庁舎周辺整備事業の概要が決定しました

「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」複合交流拠点とは？
子育て支援センターや、屋内外の子ども広場と、図書館、地域交流センター、カフェを備えた複合施設で、子どもから高齢者まで多くの人が訪れ、市民の居場所となる施設を目指しています。
1階は地域交流ゾーンとして、地域交流センターのほか、新聞雑誌コーナーやカフェがあります。また、イベントスペースとして、講座の開催や市民の活動、交流など、さまざまな用途に活用できます。
2階は子どもゾーンとして、現在は別々の場所にある「子育て支援センター」と「図書館の子ども図書室」の機能を、新たに、屋内・屋外の子ども広場が加わります。ここで、子ども達の相談窓口に加えて、雨の日でも親子で安全に遊んだり、声を出して本を読んだり、読み聞かせ会に参加することもできます。
3階は、これまで通り静かな図書室として、読書や学習を楽しむことができます。また、施設内の全ての場所で、飲み物を飲みながらの利用が可能です。



設計建設費 38億820万円		
市の実質負担 約17億円	国庫補助金	②地方交付税
新たな支出 約7億円	積立金 約10億円	国の支援 約21億円

①公共施設の統合を進める自治体を対象とした補助金
②市町合併後20年までが対象となる国からの財源

【参考】現在の施設を改修して使い続け、耐用年数を迎えて建て替える場合

改修費 7億円	設計建設費 約38億円
市の実質負担 45億円	

◆国からの補助金は見込めません。
◆改修費は公共施設等総合管理計画における試算です。
◆物件変動は考慮していません。

A 国庫補助金と地方交付税を合わせて、国の支援を約21億円予定しており、市の実質的な負担は、約17億円となります。（左図参照）
また、これまでに積み立てを行ってきた公共施設整備基金10億円も活用することで、新たな市の支出は、約7億円となります。
仮に、現在の施設を改修して使い続け、耐用年数を迎えて建て替える場合、今回予定している国からの国庫補助金・地方交付税の支援は見込めず、全額、市の負担となります。

Q1 実際に、市の負担はどのくらいになりますか？



事業方式は、民間活力を活用するDBO方式（設計・建設から維持管理・運営までを一括して契約する方式）を本市で初めて採用しています。これにより、設計建設費は、基本計画で試算していた44億円から約6億円が減額され、38億820万円となりました。そのうち建設工事は29億9640万円となります。
また、DBO方式を採用したメリットとしては、事業費の削減だけでなく、運営と維持管理を行う企業が、これまで増やしてきたノウハウを設計に生かして、便利で快適に利用できる施設を目指すことにあります。
さらに、施設の建設においては、民間事業者の創意工夫に加えて、市民が主体となって活動していくことを目指しています。そのため、開館前から、図書館、子育て、地域交流の各分野に関する専門家を招いた市民参加型のワークショップを開催し、そこから市民協働組織を立ち上げていきます。この市民協働組織は、全国で初めての取り組みとして、新たな複合施設の運営に参画していくことを目指しています。

真岡市初のDBO方式の採用

A 市では、公共施設の効率的な維持管理や建て替え、再配置等を計画的に行うための公共施設再配置計画について、令和4年度での見直しを予定しています。今後、図書館、子育て支援センターだけでなく、その他の公共施設も含めて、施設の複合化や統合、建物の有効活用について検討を進めていきます。

Q3 今の図書館と子育て支援センターの建物は、今後どうなる予定ですか？



統合された新たな施設でも引き続き併し等を行っています

統合された新たな施設でも引き続き併し等を行っています。また、改修後も建物を維持していくために5億円程度が必要との試算もあります。そのため、今だから受けられる国の支援を活用し、新たな複合施設として、これまでに以上に、子どもたちが遊び、本に親しむ環境を整えることも、多くの市民が集い、学び、交流する拠点を整備するものです。

A 現在の図書館は建築から38年が経過し、改修工事等が必要で、また、築30年の子育て支援センターも合わせると、多額の費用（公共施設等総合管理計画における試算では約7億円）が必要となる見込みです。また、改修後も建物を維持していくために5億円程度が必要との試算もあります。そのため、今だから受けられる国の支援を活用し、新たな複合施設として、これまでに以上に、子どもたちが遊び、本に親しむ環境を整えることも、多くの市民が集い、学び、交流する拠点を整備するものです。

Q2 今の図書館と子育て支援センターを使い続けてはどうですか？

昭和40～50年代に建設された公共施設は、建築から40年を超えて老朽化が進んでおり、その建て替えは全国的な課題となっていることから、国では、公共施設を中心市街地に移転して統合を図る自治体に対して、設計建設費の2分の1を補助する「都市構造再編集中支援事業」を創設しました。
本市においても、昭和56年築の子育て支援センターおよび昭和57年築の真岡市立図書館は、順次発生している雨漏りの対策や、空調機器、トイレの改修等が必要となっています。まもなく築40年となる再施設に、多額の費用をかけて改修工事を行っても、20年後には建て替えの目安となる築60年となり、国の支援が見込めない中で、建て替えが必要となってまいります。
そのため、この複合交流拠点の整備では、国の補助金と地方交付税とともに、市の積立金を組み合わせた財源構成を計画しています。

財源



A 施設内では、飲み物を自由にお飲みいただくことができます。ただし、食べ物、他の利用者にも配慮いただく必要がありますので、一部エリアを指定することを予定しています。飲み物、食べ物は持ち込みも可能ですが、施設内のカフェでも購入できます。
図プロジェクト推進室新庁舎周辺整備推進係
TEL 83・8059

Q6 図書館の中で、自由に飲食をしてもいいのですか？

A 施設内のカフェやイベントスペース等を活用した福祉団体による販売などを予定しています。また、スタッフとしての雇用も含めて、障がい者の自立と社会参加を支援していきます。

Q5 障がい者の雇用や、福祉団体との連携の考えはありますか？

A 地域交流センターは、市民の皆さまの交流と活動の場所となる施設です。1階のイベントスペースやフーリングスペースで開催される趣味の講座に参加したり、会話をしながら、囲碁や将棋といった娯楽を楽しんだり、図書館の本や新聞・雑誌を読んだり、憩える場所として、多目的に自由にご利用できます。

Q4 地域交流センターは、どんな施設ですか？

事業費の内訳

建設工事費	29 億 9,640 万円	複合施設、 駐車場等の工事費
設計調査費	2 億 5,850 万円	設計費、事前調査費
備品購入費	5 億 5,330 万円	遊具、本棚等の 購入・設置費
合計	38 億 820 万円	

施設の概要

所在：真岡市荒町 5131 番地（新庁舎北側、附属体育館跡地）

構造：鉄骨造、3 階建て

面積：延べ 6,832 m²（予定）

市では、平成29年から新庁舎周辺整備事業として検討を開始し、平成31年3月に基本構想、令和2年5月に基本計画を策定してきました。

施設の設計建設、維持管理運営を行う事業者を選定するため、大学教授等の学識経験者3名を含む事業者選定委員会によって、最も優れた提案を選定し、市議会12月議会で審査、議決され、正式に事業者が決定しました。

設計建設費 38 億 820 万円		
市の実質負担 約 17 億円		②地方交付税
新たな支出 約 7 億円	積立金 約 10 億円	①国庫補助金 国の支援 約 21 億円

- ①公共施設の統廃合を進める自治体を対象とした補助金
②市町合併後 20 年までが対象となる国からの財源

【参考】現在の施設を改修して使い続け、耐用年数を迎えて建て替える場合

改修費 7 億円	設計建設費 約 38 億円
市の実質負担 45 億円	

- ◆国からの補助金は見込めません。
- ◆改修費は公共施設等総合管理計画における試算です。
- ◆物価変動は考慮していません。

A 国庫補助金と地方交付税を合わせて、国の支援を約21億円予定しており、市の実質的な負担は、約17億円となります。（左図参照）

また、これまでに積み立てを行ってきた公共施設整備基金10億円も活用することで、新たな市の支出は、約7億となります。

仮に、現在の施設を改修して使い続け、耐用年数を迎えて建て替える場合、今回予定している国からの国庫補助金・地方交付税の支援は見込めず、全額、市の負担となります。

Q1

実際に、市の負担はどのくらいになりますか？

38億 820万円

都市再生整備計画（第1回ベース）

都市構造再編集集中支援	17億円
地方交付税（合併推進債）	4億円
公共施設整備基金	10億円
新たな支出	7億円



























ハコモノを
作るだけでいいの？

たとえば、
長野県塩尻市の場合

市民交流センター えんぱーく

- ◎ 大門中央通り商店街の活性化
- ◎ 知恵の交流を通じた人づくりの場
 - ・ 市民交流センター
 - ・ 塩尻市図書館
 - ・ 子育て支援センター
 - ・ <別棟>屋内型子ども広場

複合施設

知恵と意欲を持つ人が集い、活発に活動・交流することで新たな価値が創造され、さらに多くの人をひきつける場へと進化する知恵の好循環を生み出します。

▶ 年間**40万人超**が利用



従来の公共施設の利用者

圧倒的多数は、
サービスの提供を受ける人で

でも、そのうちの、ほんの一部でも
サービスを提供する人

まちの消費者から生産者になれば…？

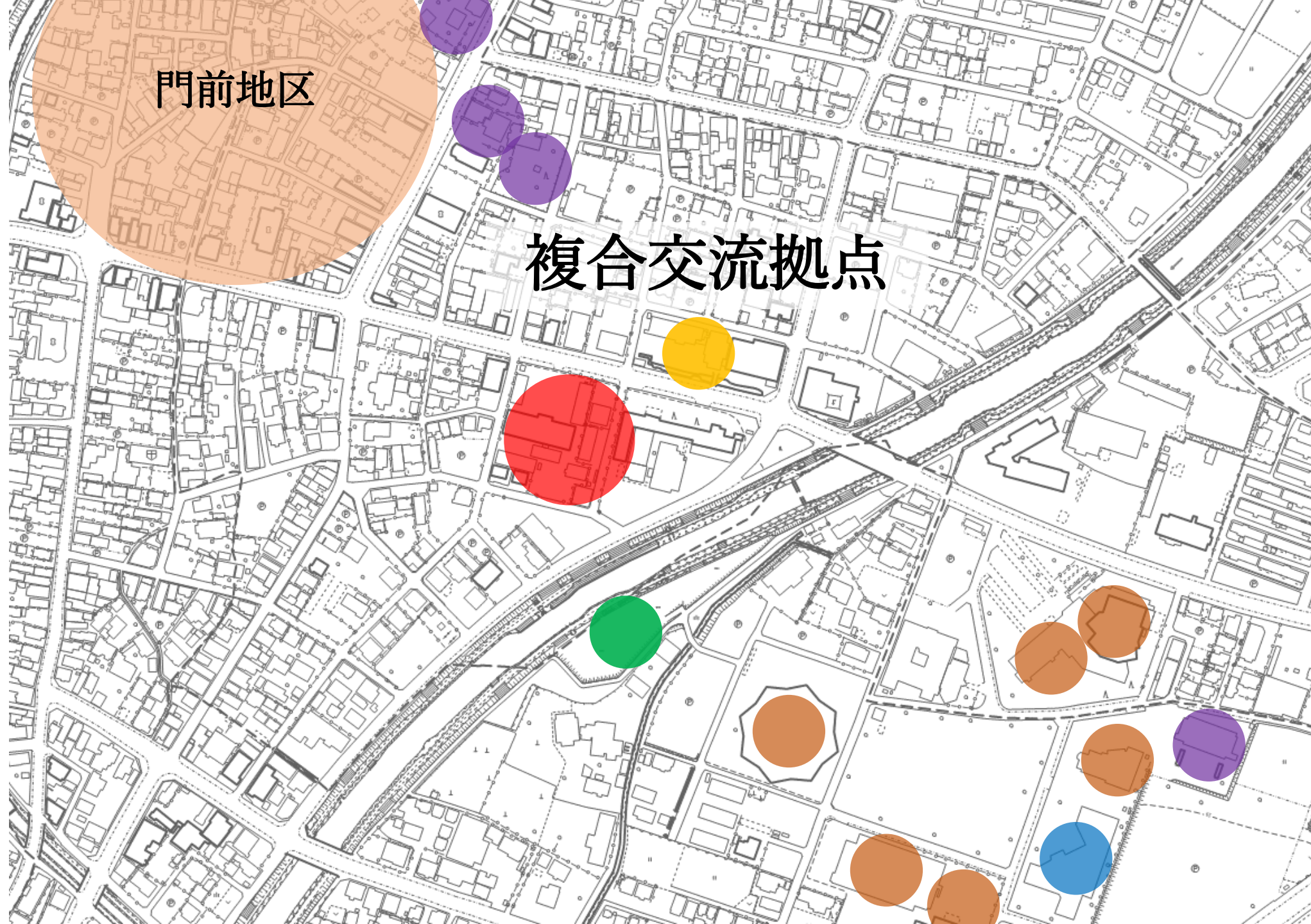
行政にやってもらうのではなく
自分が提供者、**当事者**、プレイヤーに
市民の〇〇したい！がカタチになる

- ▷ やりがい・生きがい・居場所
- ▷ サービスの多様化
- ▷ さらに新たなチャレンジ
さらにプレイヤーが生まれる

施設開館まで待たず
既にあるものを使うことで
まち／暮らしは
もっと豊かになるのでは

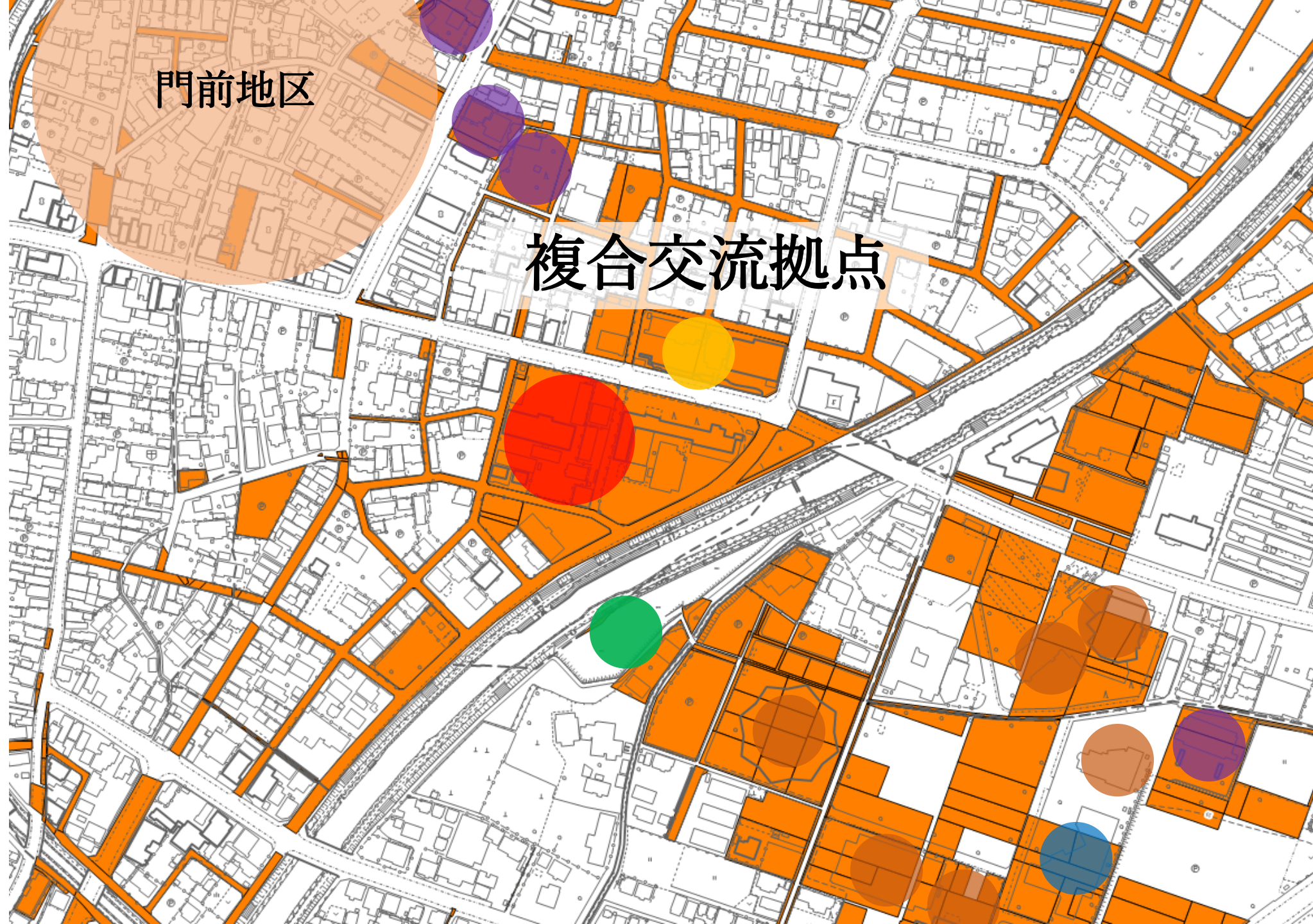
門前地区

複合交流拠点



門前地区

複合交流拠点



空き地・駐車場

空き家・空き店舗

複合交流拠点



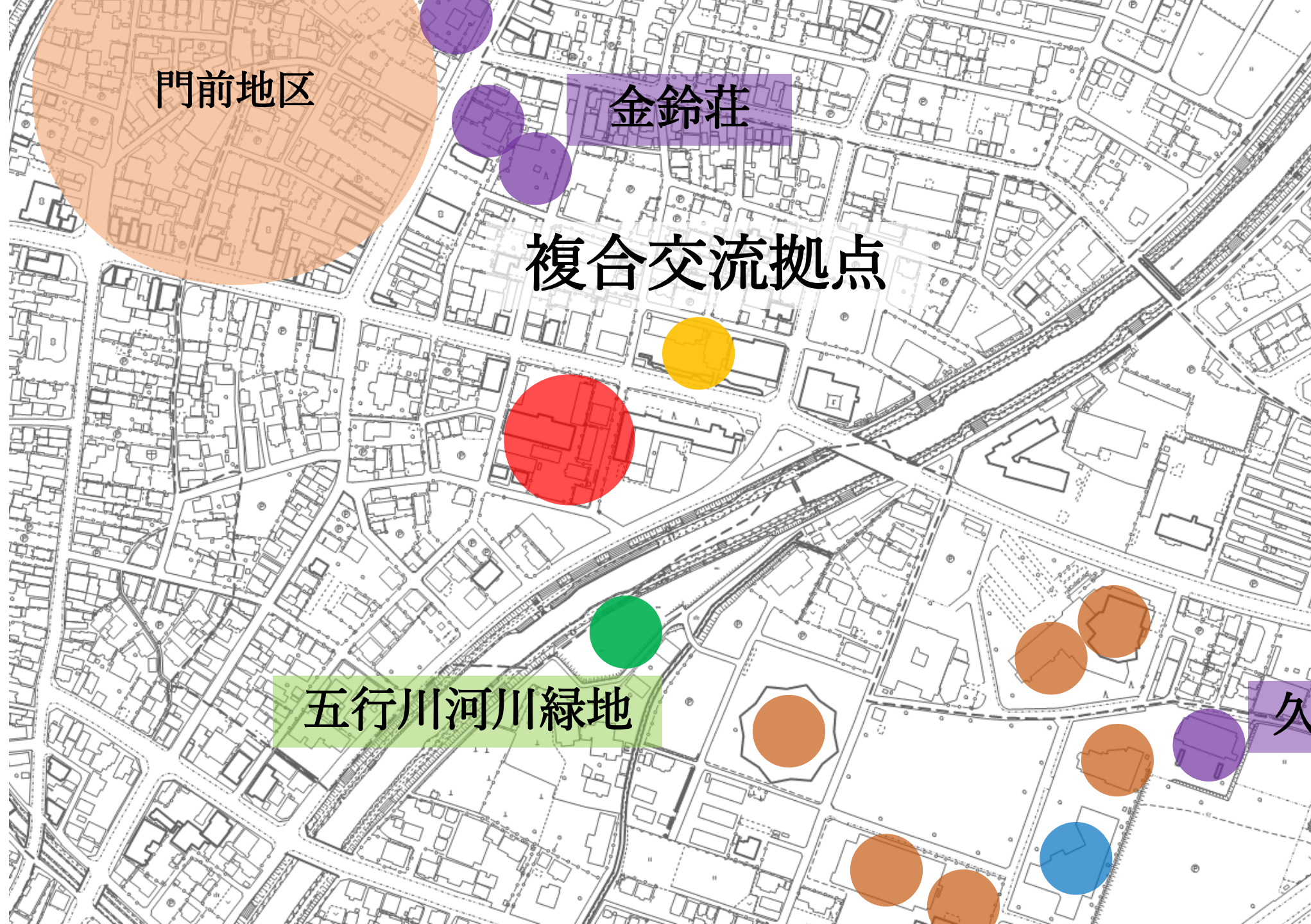
門前地区

金鈴荘

複合交流拠点

五行川河川緑地

久保講堂



もったいない公共空間がたくさん

そこで、2021年から始めたのが

真岡まちづくりプロジェクト

「まちをつくろう」、通称「**まちつく**」



五行川河川緑地 3,609m²

五行川河川緑地



五行川河川緑地



2021年10月24日

RIVER+ ピクニックマルシェ

推計 2,400人が来場

(Yahoo!位置情報)





















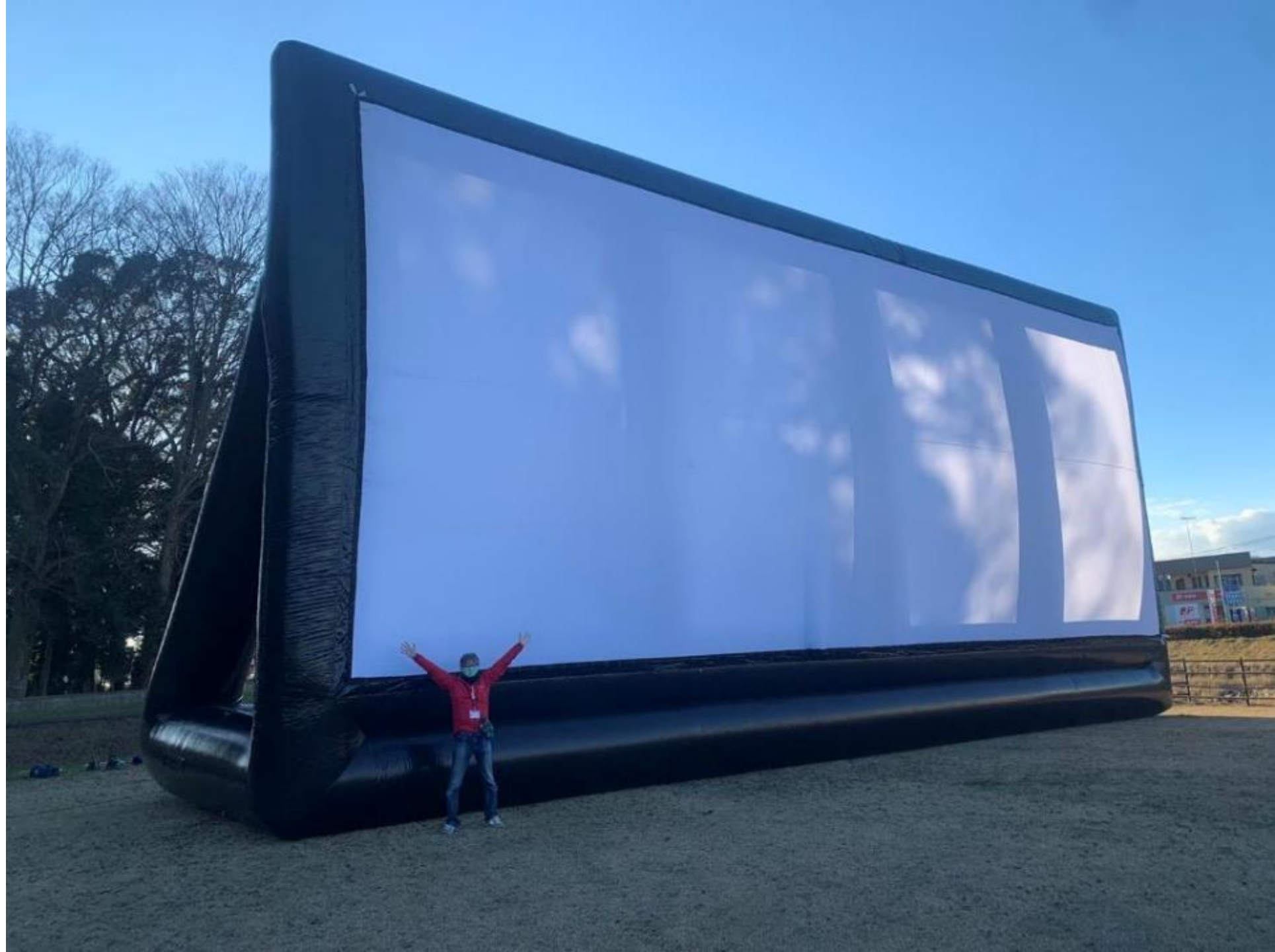


2021年12月19日

River + Before Sunset

推計 800人が来場







2022年11月13日

真岡おやこフェス

推計 2,500人が来場

(Yahoo!位置情報)







2023年 9 月23日

RIVER+ 音肉祭

推計 4,500人が来場

(Yahoo!位置情報)







あくまでイベントは
最大瞬間風速
所詮、一過性のもの

GENTLE HIKER STAND



太極拳





MIZBERING

金鈴莊芸術祭



星空映画会



珈琲と本と図書館





ナイト・ライブラリー



寺子屋ドーナツ



寄付・収益の総額

2021年度 118,165円

2022年度 267,733円

2023年度 510,137円

(盲導犬協会への寄付)

2021年度	55,020円
--------	---------

2022年度	106,982円
--------	----------

2023年度	41,516円
--------	---------

(寺子屋への寄付)

2021年度	—
--------	---

2022年度	21,650円
--------	---------

2023年度	244,500円
--------	----------



**GOOD DESIGN
AWARD 2022**

真岡まちづくりプロジェクト 「まちをつくる」



2021年5月一般公募20人から始まった「まちつく」

高校生4人・大学生6人・大人10人が、5チームに分かれ、もったいない公共空間を活用するアイデアを企画



9回の社会実験 のべ5,600人がもったいない場所を使ってみた

- 五行川河川緑地「RIVER+」・10/9 五行川クリーンアップ大作戦 50人・10/24ピクニックマルシェ 2,400人・12/19Before sunset 200人
- 市役所「青空ステーション」・夏休み開放 636人・青空ベンチの製作・まちつく本棚の製作・まちつく文庫の募集
- 二宮コミュニティセンター・11/28Real shibafu ille1,500人 ドッグラン〈動物犬協会への寄附〉青空図書館（図書館の読書本リユース）
- 真岡記念館「金鈴荘」・12/18お歳暮クリスマス 150人・3/26はじまりの春 100人
- 真岡鉄道天下町駅・ウインドウアートプロジェクト

「人づくり × 地域づくり × にぎわいづくり」

「まちつく」という場に参加した学生たちが、自らが望む日々の暮らしを企画提案し、地域の大人たちのサポートも得て、社会実験として実現、成果を挙げることができました。さらに、2年目となる令和4年度は、「私の未来は私がつくる」をキャッチコピーに、学生20名の2期生募集を行いました。01月の応募があり、1期生を含めて総勢55名で活動を開始しています。「まちつく」では、2年目も、参加する全員が主役となって、自分たちの未来をつくる活動を行っています。



○ 人づくり

○ 地域づくり

○ にぎわいづくり

一人の100歩より 100人の一歩

まちの次代を担う高校生が、公共施設を使いながら、自分たちの手で住み続けたい地域をつくる。地域と何らかの関わりを持ちたいという意識を持つ若者が増え、それが地域への愛着につながっていく。このプロジェクトは社会実験という枠を超え、すでにまちを動かすエネルギーになっているようだ。これまでに9回、5,000人もの若者たちが参加してきた実績が、そのことを物語る。

アクションのフィールドとして、公共施設という場を提供できたことも注目したいポイント。さまざまな団体や施設との連携が加わるたびに、若者が活躍する機会が増えていく。人口流出を課題にしている多くの地方都市が、未来を考える際に参考にしたい取り組みではないだろうか。

国土交通省

第39回 地域づくり表彰

表 彰 名	受 賞 者 名 （所在地） （全国地方公共団体コード順）
国土交通大臣賞	清流と山菜の里 ほその村（山形県 ^{お ば な ざ わ し} 尾花沢市）
	一般社団法人 ^{ひがしそのぎ} 東彼杵ひとことの公社（長崎県 ^{ひがしそのぎちよう} 東彼杵町）
全国地域づくり 推進協議会 会 長 賞	^{も お か} 真岡まちづくりプロジェクト（栃木県 ^{も お か し} 真岡市）
	合同会社 暮らしの編集室（埼玉県 ^{き た も と し} 北本市）
国土計画協会会長賞	ささラブ応援隊（山口県 ^{は ぎ し} 萩市）
日本政策投資銀行賞	^{ひさやままち} 久山町（福岡県 ^{ひさやままち} 久山町）
地域づくり表彰 審 査 会 特 別 賞	一般社団法人 ふるさと ^{がくしゃ} 楽舎（広島県 ^{ひろしまし} 広島市）
	特定非営利活動法人 ^{み さ と} 美郷宝さがし探検隊（徳島県 ^{よしの が わ し} 吉野川市）

真岡まちづくりプロジェクト（栃木県真岡市）

—— まちを使った高校・大学生らの持続可能性を見据えた取組が、地域の元気の起爆剤に ——

●活動の概要：もったいない公共空間をキャンパスに、若者がやりたいことを実現
「まちつく」は、学生を中心に据えた、まちなかの実験的な取組の企画・実行グループ

「農・商・工がバランス良く調和した理想的な地方都市」だったはずがアンケートでは、
たった4年間で高校生の定住意向が55%から37%に急低下したことに市の危機感
⇒若者に、まちづくりを「わがごと」として考えてもらうため高校生・大学生中心の
「まちをつくろう（まちつく）プロジェクト」を開始

- ▶「まちつく」メンバーが、まちあるきで魅力的な場所を発見し活用を構想
- ▶例えば、市役所向かいの河川敷に映（ば）えるモニュメントを作りマルシェを開催したり、指定文化財の別荘で和風クリスマスを実施したりと、若者が、従来、低未利用だった地域の公共空間・施設を、自分の創造の舞台として自在に活用する事業を展開
- ▶学生主導の実験的試みで多くの集客を得る等の成果を挙げたことから、活動を見た市民から協力の申し出や、自分たちでも何か企画したいとの声も出て、「まちつく」でない市民の事業の意欲も地域の中に高まってきており、一過性で無い活力が生まれた
- ▶更に、観光コンシェルジュや福祉団体等、多様な主体からも連携の申で出がある等、市民協働のまちづくりの核のひとつとして、取組の輪はますます広がりを見せている



河川敷に学生らが企画・製作した
「映える」モニュメントを設置



まちつくメンバー(2022)
今後の地域の担い手づくりにも

●選定理由 若者の意見に真摯に向き合い、若者を真の主演として、持続可能な形で地域づくりを担わせたこと
「市に残りたい」という高校生割合の激減ショックに目を背けず、若者自身が当事者として課題に向き合い、実施まで行わせる大がかりな実験を、まちぐるみで支援したことを評価。高校生や大学生をまちづくりに巻き込む企画は多いが一過性のものになることが多いなか、事業開始から日が浅いものの、足元を見据え財源や資金捻出に関する取組や、市や各種団体が十全に支える等、継続性・発展性を強く意識したものとなっており期待できる。若者自身が、まちの有休資源の活用とともに地域の現実に向き合い「わがごと」として認識することで、主体的な地域づくりの責任と面白さを体験でき、新しいエネルギーが地域に生まれており、社会実験の域を超えた価値がある。

若者の意見に真摯に向き合い、若者を真の主役として、持続可能な形で地域づくりを担わせたこと「市に残りたい」という高校生割合の激減ショックに目を背けず、若者自身が当事者として課題に向き合い、実施まで行わせる大がかりな実験を、まちぐるみで支援したことを評価。高校生や大学生をまちづくりに巻き込む企画は多いが一過性のものになることが多いなか、事業開始から日が浅いものの、

足元を見据え財源や資金捻出に関する取組や、市や各種団体が十全に支える等、継続性・発展性を強く意識したものとなっており期待できる。若者自身が、まちの有休資源の活用とともに地域の現実に向き合い「わがごと」として認識することで、主体的な地域づくりの責任と面白さを体験でき、新しいエネルギーが地域に生まれており、社会実験の域を超えた価値がある。

総評から抜粋

- ▷ 地域の危機感を明確に意識しつつも、それに怯まず「ピンチをチャンスに」
- ▷ 「人と人との繋がり」「顔の見える関係」という言葉が、各団体の説明に何度も登場
- ▷ 「負の遺産」と捉えがちな空間・施設等を、人々が出会い、自然に集える「居場所」として再定義、再生
- ▷ 無理に「人を集める」のではなく、自然と「人が集まる」場づくり
- ▷ 人に出会うこと・関わることを大切にしていく取組は、これから、どの地域でも真似ができ、全国各地に勇気とやる気を起こさせるもの

実際の企画の作り方 (ワークショップの運営)







グループで共有





マチツク!
～共同生活プロジェクト～

寺子屋ドーナツで
多世代交流
したい

ニックネーム
みう



マチツク!
～共同生活プロジェクト～

1725
をしたい!!

ニックネーム
ゆい



マチツク!
～共同生活プロジェクト～

松田屋本店跡地
でイベント開催
のサンプルにしたい

ニックネーム
おれど



マチツク!
～共同生活プロジェクト～

企画・運営
のサポートしたい

ニックネーム
アミ



マチツク!
～共同生活プロジェクト～

スケートパーク

ニックネーム
さやちん



マチツク!
～共同生活プロジェクト～

野草味画

ニックネーム
しほ



マチツク!
～共同生活プロジェクト～

お茶会
つくりたい

ニックネーム
イブ



マチツク!
～共同生活プロジェクト～

・本当の花園公園
作り
・子どもとふれあえる
場所をつくりたい

ニックネーム
あすか



マチツク!
～共同生活プロジェクト～

年齢関係なく
楽しめるイベント
がほしい!!
(木曜 祝祭日)

ニックネーム
アミ



マチツク!
～共同生活プロジェクト～

カフェを作る
会館で
お茶会

ニックネーム
アミ



マチツク!
～共同生活プロジェクト～

お茶会
つくりたい

ニックネーム
アミ



マチツク!
～共同生活プロジェクト～

お茶会
つくりたい

ニックネーム
アミ



マチツク!
～共同生活プロジェクト～

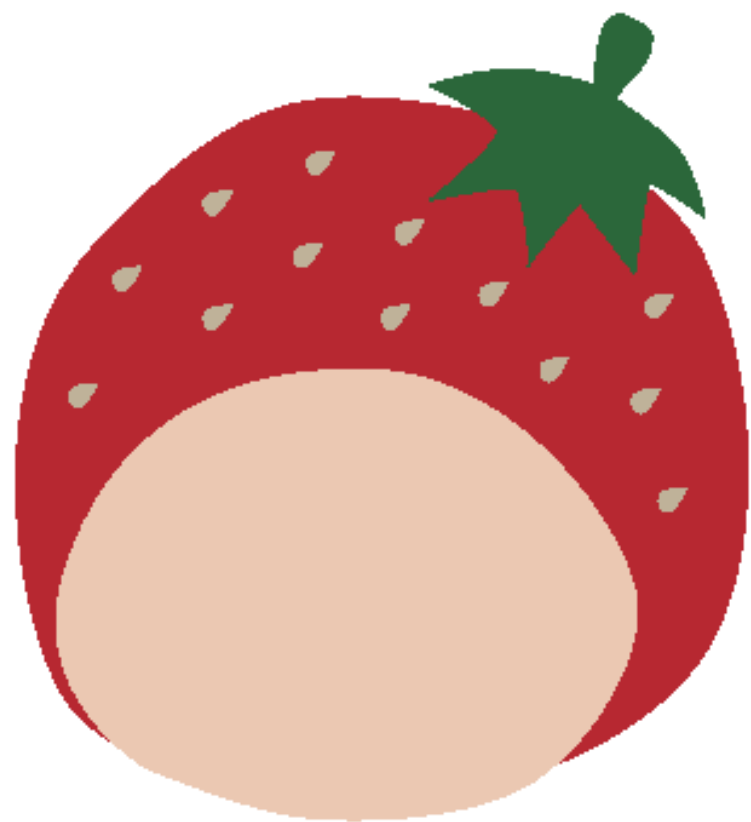
お茶会
つくりたい

ニックネーム
アミ



マキツク!

～真夏まちづくりプロジェクト～



ニックネーム

私はマチツクで・・・

やりたいことが
分からない

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

やりたいことは
決まっている

静かに黙々と
やりたい

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

楽しくワイワイ
やりたい

できたら

屋外での 活動	屋内での 活動
------------	------------

コレして！
アレして！
と言われたい

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

コレして！
アレして！
と言いたい

どうしてやってみたい？

参加してほしい人・協力してほしい人

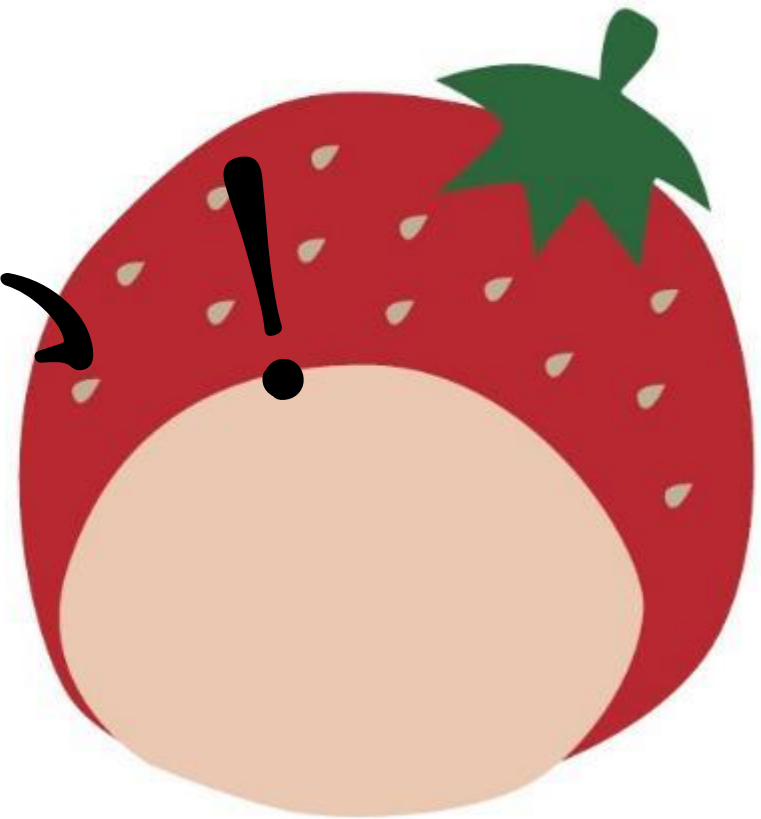
やってみたい場所

名前

マチツク!

～真岡まちづくりプロジェクト～

私は
○○したい!



ニックネーム

地域のために
自分ができることって
何だろう？

地域で（を）楽しむために
自分ができるところで
何だろう？

たとえば・・・

いつもやっていることを
(部活とか、課外活動、勉強)

他の学校の人とやりたい！

地域の人とやりたい！

たとえば・・・

地域の○○○さんのために
○○○がしたい

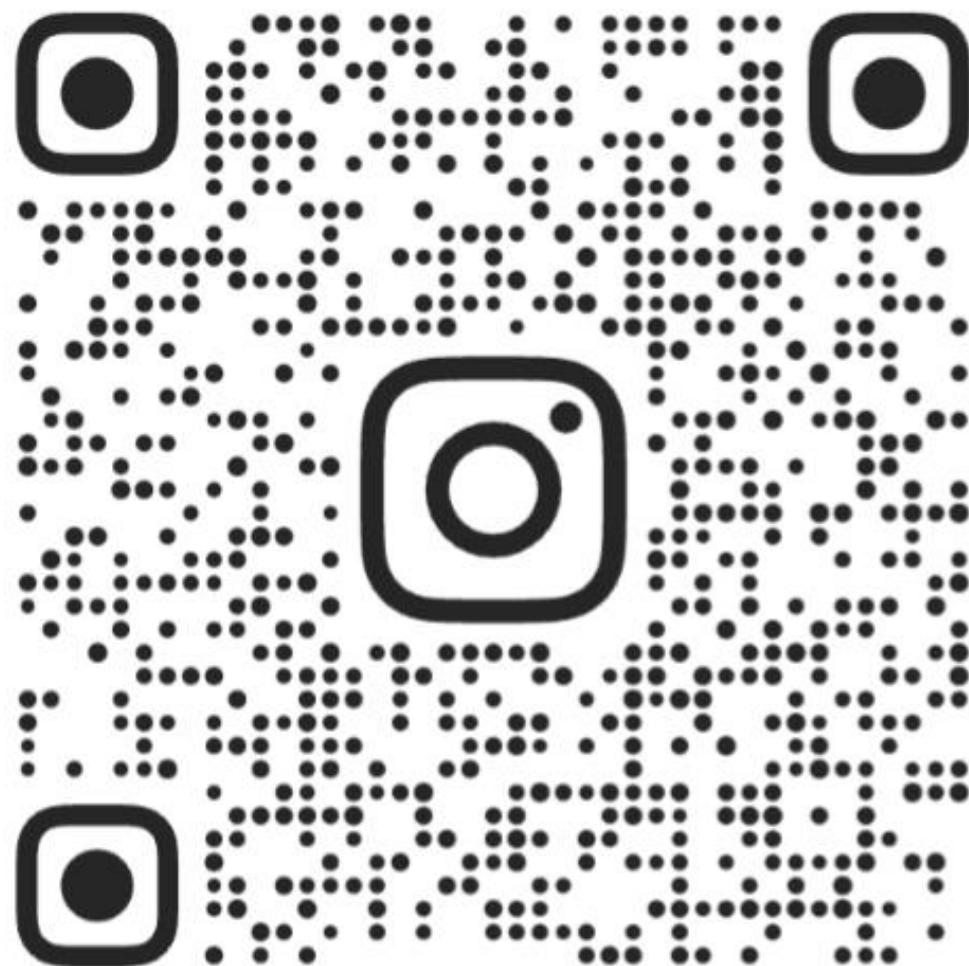
たとえば・・・

この場所で〇〇がしたい

大事なものは...

WHY ?

続きは インスタグラム で



@MOKAMACHIDUKURI